

平成24年度

福島町まちづくり推進会議

(第1回)



と き：8月29日（水）午後6時

ところ：健康づくり研修室

総務課企画グループ

会 議 次 第

1. あいさつ
2. 2次評価の結果について
3. 外部評価（3次評価）について
4. 外部評価の視点について
5. 第3次評価の実施について
6. その他

2. 2次評価の結果について

町の行政評価の目的は、「住民満足度の向上」と「財政健全化」の2点を目指すこととしております。

行政評価制度は平成22年度から試行しており、今年度においても各グループで自己評価した25件の事務事業を庁内評価委員会（副町長、教育長及び全管理職）で2次評価を実施しました。

各評価の結果については、別紙のとおりとなっております。

3. 外部評価（第3次評価）について

外部評価とは、行政が行っている様々な事業について「どの程度の成果・効果を上げたか」、「少ないコストで期待した効果が得られたか」、「町が実施する事業か」、「社会情勢、住民ニーズに適った事業か」などの視点から事業を町民の目線で評価するものです。

4. 外部評価の視点について

町で評価した25件の事務事業について、1事業毎に評価します。

なお、評価にあたっては、平成23年度に実施した内容について確認し、事務事業評価シートに沿って実施内容が適切かつ正確に評価されているかについて外部評価を行います。

- ①事業の目的が明確に記載されているか？
 - 誰（何）を対象にした事務事業なのか適切に記載されているか？
 - 意図や手段が分かりやすく記載されているか？
- ②法的根拠や実施主体が適切に記載されているか？
- ③必要性や有効性が正しく評価されているか？
- ④達成度の活動指標が達成度を実現する指標となっているか？
- ⑤達成度の活動指標が分かりやすく数値化されているか？
- ⑥事業費の推移等が適切に記載されているか？
- ⑦項目別点数による評価と1次評価（担当者評価）において妥当性がある評価となっているか？
- ⑧1次評価及び2次評価の説明が適切に記載されているか？
- ⑨B評価以下の事務事業の今後の改善策等が具体的に記載されているか？

事務事業の相対評価について、必要性・有効性・達成度・効果性の4つの観点で、総合的かつ客観的に判断してください。

- ①現在の社会情勢から判断して、本当に町民のニーズに合致しているのか？
- ②活動内容の見直しにより、コスト削減や成果を上げる見込みは無いのか？
- ③町が事業を休止または廃止した場合に、利用者などの町民に与える影響は無いのか？
- ④今後の方向性はどのようにすべきと考えるか？

5. 第3次評価の実施について

別添評価シート

6. その他